

新
謹
年
賀

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団は、平成30年11月16日で設立30周年を迎えました。今年もよろしくお願いいたします。

Vol.103
平成31年1月号

— 志津川湾がラムサール条約湿地となりました —



コクガン

平成30年10月18日に、志津川湾が宮城県内4カ所目となるラムサール条約湿地となりました。藻場やコクガンがシンボルとなっています。県では沖縄県の5カ所に次ぐ多さで、すべて宮城県北部に集中しています。水鳥をはじめとした多様な生き物が生息する自然豊かな地域の証です。



— ガンの飛立ちに歓声 —

第9回伊豆沼・内沼自然体験講座「ガンの飛立ち観察会&沼歩き探鳥会」が12月8日に開催されました。県内外から23名が参加し、専門家の解説で朝6時から多くの鳥を観察しました。夜明けの伊豆沼では、一斉に飛び立つガンの群れに歓声が上がりました。内沼ではハクチョウやカモに親しみ、伊豆沼に注ぐ浄土川沿いを歩きながらアオサギやオジロワシなどを観察しました。奈良、神奈川、東京からも参加する程の人気です。参加した男性から「色々な種類の野鳥を見ることができて良い経験になった。説明が分かり易かった」と感想がありました。



伊豆沼でマガンの飛立ち



内沼で観察

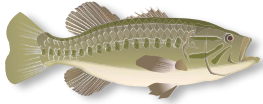


専門家の解説を聞きながら散策



浄土川沿いで観察

— ブラックバスがカマボコに!? 大学生がチャレンジ —



石巻専修大学の大学生が、12月1日に当財団が提供したブラックバス（オオクチバス）を使ってカマボコづくりにチャレンジしました。もともとブラックバスは食用として輸入された魚。その自身は癖がなく、調理しやすいのです。完成したカマボコは、言われなければ(言われても)ブラックバスとは分からない程の仕上がり。石巻専修大学は「サバだしラーメン」など地域食材を活用した商品開発に取り組んでいます。「バスかまぼこ？」も駆除した魚の有効活用の一つになるかもしれません。



写真提供:石巻専修大学

完成した「バスかまぼこ」

— 栗駒山麓ジオパーク・ジオガイド養成講座開催 —



栗駒山麓ジオパークを案内するジオガイドを養成講座が開催され、18人の受講者にジオサイトのひとつである伊豆沼・内沼の自然や保全について解説しました。

← ジオガイド養成講座風景

1月19日(土)
午前中まで開催

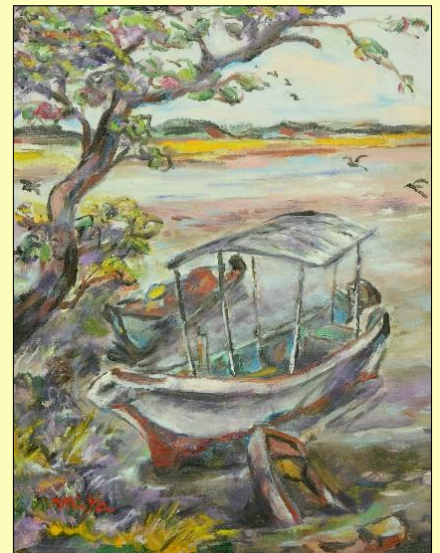
— あさはたゆうすいち 麻機遊水池(静岡県)の自然再生事業を視察しました —

11月26日に麻機遊水池（静岡県）の自然再生事業を当財団の研究員が視察しました。ヨシ原が広がる伊豆沼・内沼とよく似た低湿地です。この事業に取り組みれて15年。病院が参画していることがユニークで、保全した自然の中で患者さんがリハビリに取り組みむなど、いろいろな活動をしています。学んだことは伊豆沼・内沼の自然再生にも活用していきたいと思えます。



麻機遊水池と生息するカヤネズミ(上)、巣(下)

第24回 伊豆沼・内沼絵画展



「舟どまり」宮野芳明
(栗原市一迫)

12月23日より1階ホールで伊豆沼・内沼絵画展を開催しています。伊豆沼・内沼をさまざまに表現した43点の作品が展覧されています。どうぞお楽しみください。

